

松川小学校

1、地層の観察

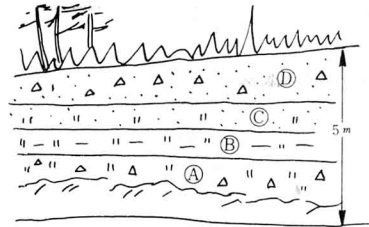
(1) 観察する場所

土湯街道より30 m入った市の沢地内のかけ



(2) かけから離れて地層全体を観察する。

- ① 地層全体が見通せる所に立ってかけの全景をスケッチする。
- ② 地層の重なり方、地層の色や厚さなど気付いたことを書き入れる。
- ③ この高台は、淡黄色のⒶ層、白っぽいⒷ層、淡黄色のⒸ層、茶かっ色のⒹ層がつもってできていることを理解する。
- ④ また、地層を追ってみると、地層は水平方向に広がりをもつもっていることを理解する。



(3) 地層に近づいて、その特徴を観察させる。

Ⓐ層は1～3 cm大の角レキを含む淡黄色の角レキ凝灰岩で、80 cm以上の厚さをしてしています。

Ⓑ層は30 cmほどの厚さをしており、触るとクレンザーのような手ざわりがする地層で、粘土と火山灰が混じって水中につもってできた凝灰岩質泥層です。

Ⓒ層は50 cmほどの厚さをしており、淡黄色をした凝灰岩層です。

Ⓓ層は雨などが降るとべたべたとなる、茶かっ色の火山灰等の火山噴出物が風で運ばれてつもったローム層です。

中新世末から始まった地殻変動で、中通り地域や会津地域は海底から陸化し始